

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		25年10月	11 月	12 月	26年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.8	1.6	1.5	1.7	△ 0.1	11.3
	乗用車新車登録台数	12.4	12.3	25.7	26.8	22.3	19.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 12.3	47.3	△ 22.2	341.2	△ 18.2	△ 24.4
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 22.0	38.0	187.2	17.4	193.7	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 15.1	8.0	45.5	18.7	44.6	5.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	4.4	5.9	10.5	14.4	8.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.21	0.17	0.14	0.11	0.12	0.16
	雇用保険受給者実人員	△ 1.7	△ 6.5	△ 3.9	△ 11.0	△ 11.6	△ 10.8

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		25年10月	11 月	12 月	26年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	6.0	1.0	27.5	△ 19.1	△ 12.1	28.4
	乗用車新車登録台数	△ 13.8	6.9	△ 11.7	26.4	7.4	54.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 54.2	14.5	△ 38.5	217.6	△ 75.6	373.1
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	42.2	△ 9.0	108.5	△ 48.3	48.3	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 1.5	15.3	5.6	△ 29.2	60.8	△ 26.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	0.6	2.7	2.5	4.9	△ 4.2	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	0.04	0.01	0.02	0.01	0.01	0.04
	雇用保険受給者実人員	△ 3.0	△ 10.1	△ 1.3	△ 1.4	△ 5.4	0.8

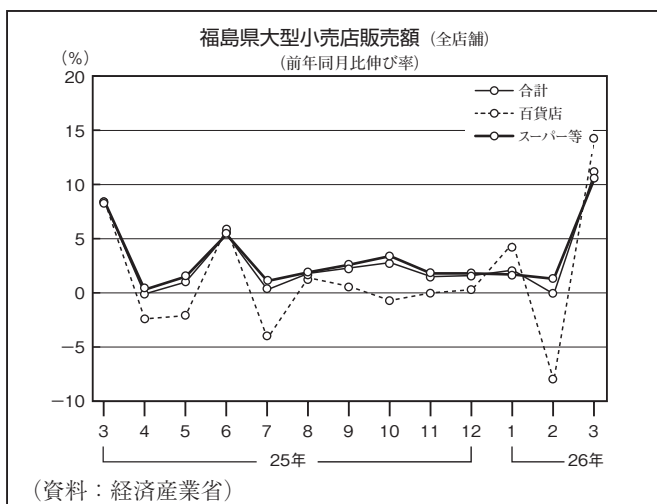
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

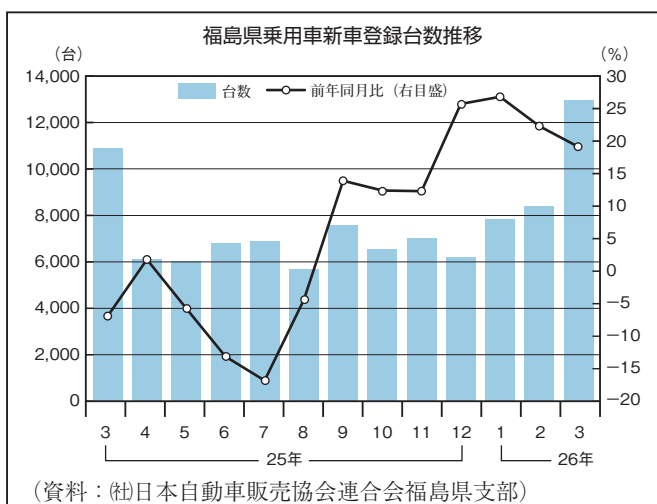
大型小売店：2ヵ月ぶりで前年比増

3月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で232億35百万円（前年同月比+11.3%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を上回ったことなどから、合計では同+14.4%となった。また、スーパーも、飲食料品と衣料品が前年を上回ったため、合計では同+10.6%となった。



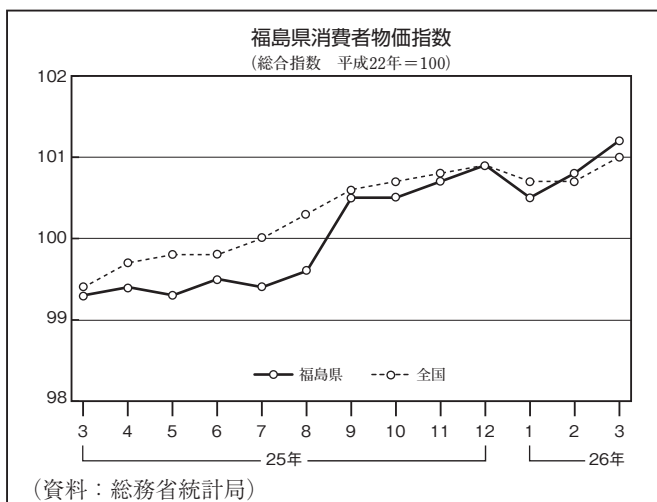
乗用車販売：7ヵ月連続で前年比増

3月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で12,948台（前年同月比+19.1%）となり、7ヵ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車は3,863台（同+22.2%）、小型車は4,149台（同+7.9%）とともに7ヵ月連続、軽乗用車が4,936台（同+27.5%）と8ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



消費者物価指数：前年比、前月比とも上昇

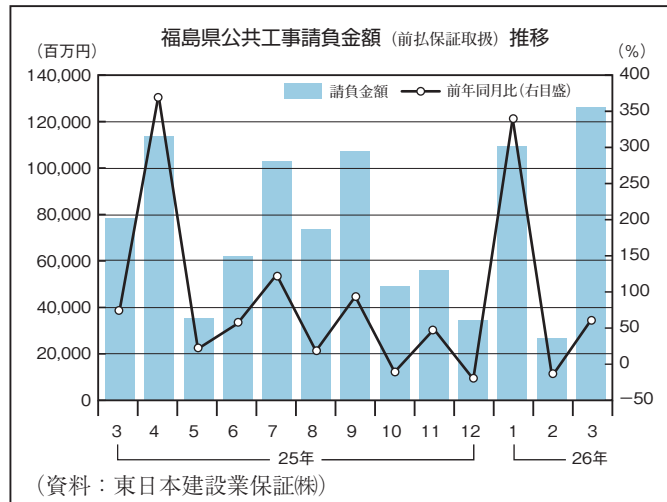
3月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、101.2と前月比で+0.4%、前年同月比では+1.9%となった。費目別にみると、「被服及び履物」の98.8（前月比+4.1%）など、「教育」を除いた9費目が前月比で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比増

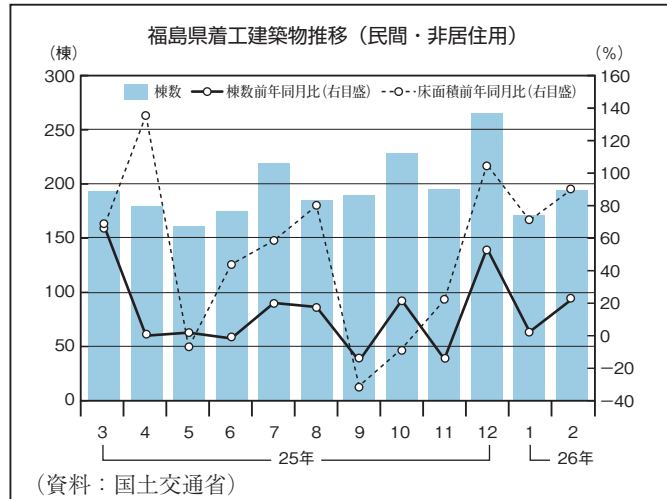
3月の公共工事前払保証取扱は、件数が325件（前年同月比△24.4%）と2ヵ月連続で前年を下回った。一方、請負金額は1,262億15百万円（同+60.8%）と2ヵ月ぶり、保証金額は599億91百万円（同+62.6%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が4ヵ月連続で前年比増

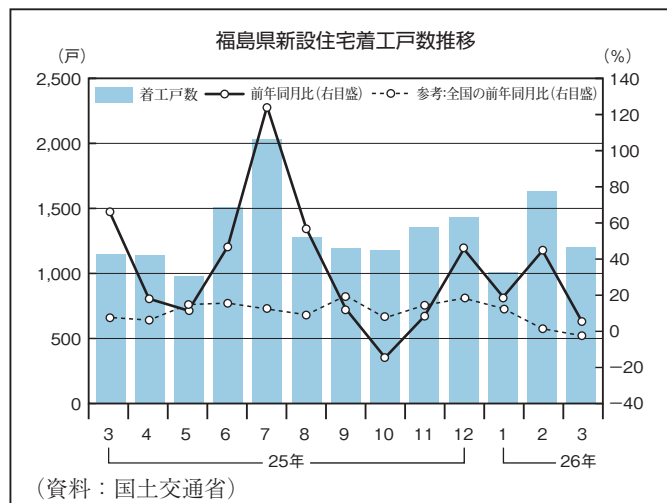
2月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が194棟（前年同月比+22.8%）と3ヵ月連続、工事費予定額が214億42百万円（同+193.7%）、床面積が93,263㎡（同+91.0%）と4ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：5ヵ月連続で前年比増

3月の県内新設住宅着工戸数は、1,203戸（前年同月比+5.1%）と5ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が587戸（同△4.9%）と10ヵ月ぶり、「分譲」が65戸（同△25.3%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を下回ったものの、「貸家」は547戸（同+24.6%）と4ヵ月連続で前年を上回った。

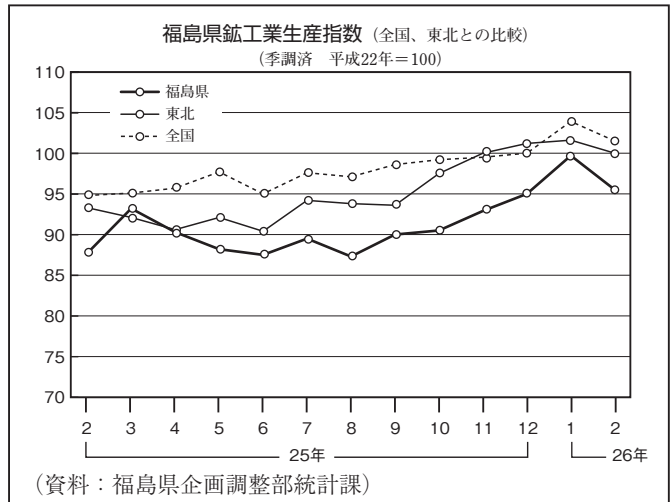


生産活動

鉱工業生産指数：6ヵ月連続で前年比増

2月の鉱工業生産指数は、95.5（季節調整値）で前月比△4.2%と6ヵ月ぶりで前月を下回ったが、原指数が91.4で前年同月比+8.8%と6ヵ月連続で前年を上回った。業種別の季節調整値をみると、「繊維工業」（前月比+30.8%）など5業種で上昇し、「木材・木製品工業」（同△21.6%）など14業種で下降した。

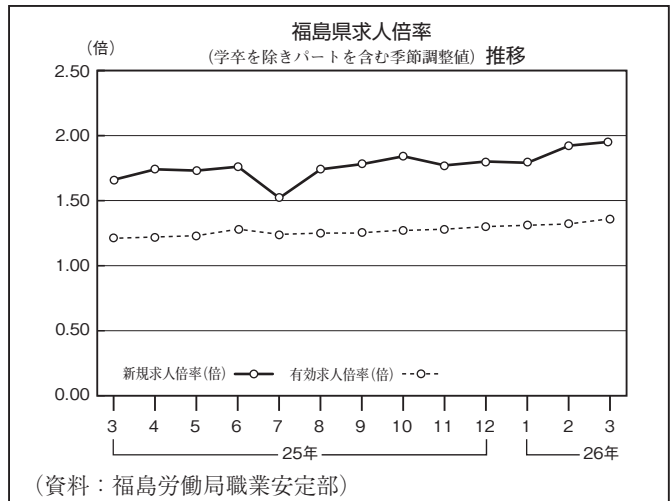
※福島県では、調査対象企業のうち、震災の影響により調査できない約3%の企業の生産額は0として処理している。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は48ヵ月連続前年比増

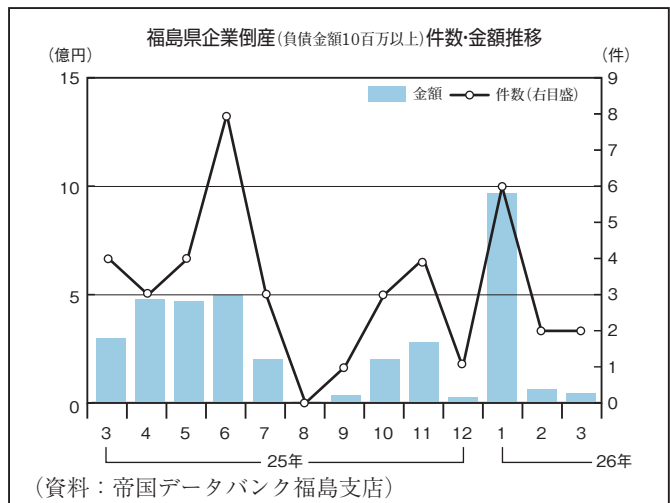
3月の新規求人倍率は、季節調整値が1.95倍（前月比+0.03ポイント）、原数値が1.71倍（前年同月比+0.23ポイント）となった。また、3月の有効求人倍率は、季節調整値が1.36倍（前月比+0.04ポイント）、原数値が1.37倍（前年同月比+0.16ポイント）と48ヵ月連続で前年を上回った。一方、3月の雇用保険受給者実人員は6,725人（前年同月比△10.8%）と6ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：前年比で件数、負債額とも減少

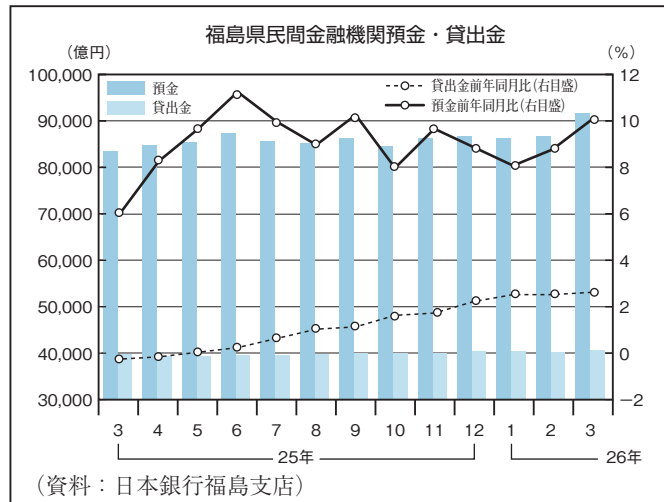
3月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が2件（前年同月比△50.0%）、負債総額が40百万円（同△87.5%）となり、件数、負債総額とも前年を下回った。業種別では、建設業とサービス業で各1件となった。



金融動向

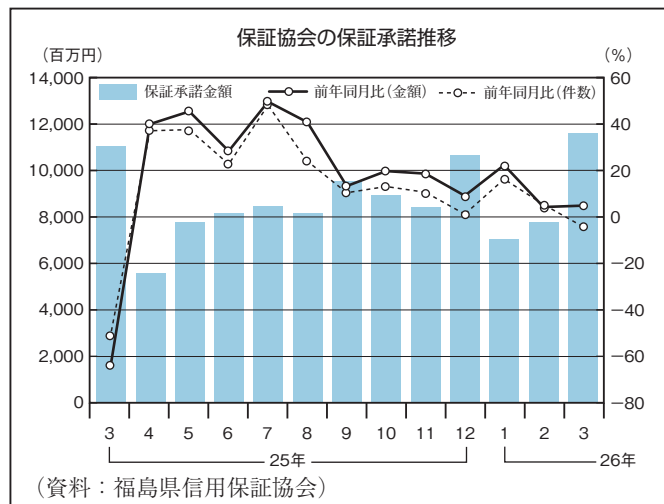
資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の3月末の預金残高は、9兆1,899億円（前年同月比+10.1%）と85ヵ月連続、貸出金残高は、4兆682億円（同+2.6%）と10ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は金額が前年比増

3月の保証承諾は、件数が1,064件（前年同月比△4.1%）、保証金額が116億6百万円（同+5.0%）となった。また、3月末日現在の保証債務残高は、件数48,430件（同△2.4%）、金額4,377億80百万円（同△7.5%）となった。一方、3月中の代位弁済は、件数が38件（同△9.5%）、金額が4億32百万円（同△17.9%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 3月の家電量販店の売上高は、消費増税前の駆け込み需要から、エアコンや冷蔵庫、洗濯機、パソコンなどが前年を上回ったことから、合計では前年を70%ほど上回った。

ホームセンター 3月のホームセンターの売上高は、エクステリアや日用品などを中心に前年を上回ったことから、合計では前年を10%程度上回った。

旅行 2月の旅行取扱額は、国内旅行が前年を下回ったものの、海外旅行が団体向けを中心に前年を上回ったことから、合計では前年実績を5%程度上回った。

高速道路 3月の県内自動車道出入台数は、合計で5,321,884台（前年同月比+5.0%）と、2ヵ月ぶりで前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,924,551台（同+4.1%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,313,926台（同+12.2%）とともに2ヵ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は646,620台（同+0.03%）と4ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は436,787台（同△1.2%）と3ヵ月連続で前年を下回った。

福島空港 3月の福島空港国内定期路線の利用状況は、19,219人（前年同月比+0.9%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は7,595人（同△0.4%）、大阪便は11,624人（同+1.7%）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 3月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要が振るわないものの、国内需要が堅調であることから、前年並みの生産水準を確保している。一方、高機能樹脂は、国内の自動車向けの受注が堅調なことから、前年を上回る生産となっている。

鉄鋼・金属 3月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年を30%ほど上回る水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競合が続いているものの、円安効果がみられ、前年を30%程度上回る生産を確保した。建機用鋳造品は、中国やオーストラリアを中心に海外からの受注が減少したことから、合計で前年を35%程度下回る生産となった。陸船用バルブは、需要の低迷と中国などの低価格品との競合が続いており、前年を20%ほど下回る生産となった。

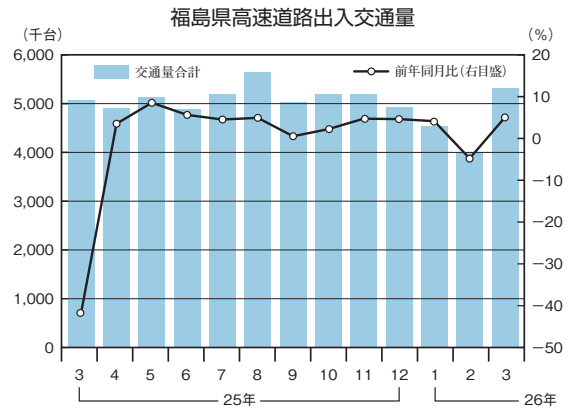
輸送用機械 3月の鋳造品は、トラック向けがタイの需要に不透明感が始めているものの、合計では前年を10%以上上回る生産となった。また、オイルシールは、東南アジアを中心に需要が上向いてきたことや円安効果などにより、輸出が増加したことから、前年を5%ほど上回る生産となった。

電気機械 3月の電気機械は、モーターの生産が前年を下回ったものの、配電盤および変圧器、誘導炉などが、いずれも前年比で増産となったことから、合計では前年を25%以上上回る生産となった。

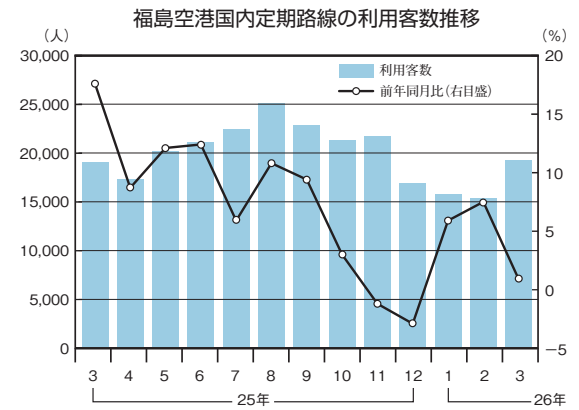
情報通信機械 3月の情報通信機械は、マイクロ波通信機器などの無線通信機器でインドを中心とした海外からの受注が減少しているものの、国内向けモバイル基地局の生産が堅調だったことなどから、合計では前年を35%程度上回る生産となった。

電子部品・デバイス 3月のLSI（大規模集積回路）の生産は、半導体の需要に不透明感が続いており、前年を30%ほど下回った。

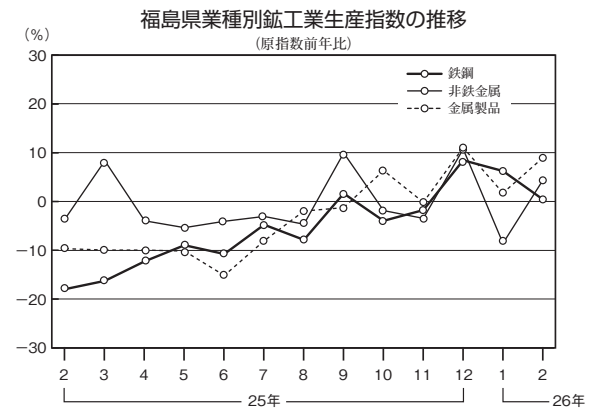
精密機械 3月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加



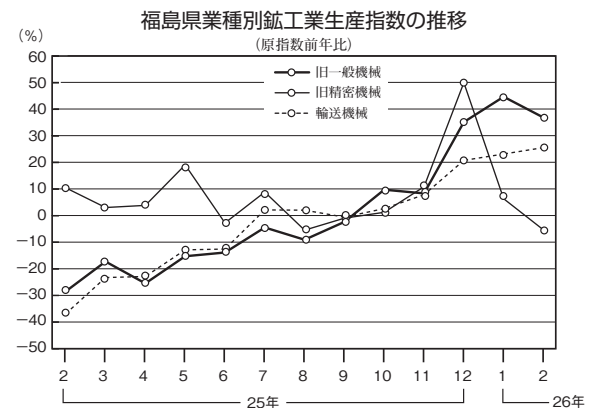
(資料：東日本高速道路㈱東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県企画調整部統計課)

価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計でも前年並みの生産水準を確保した。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、海外からの受注がやや上向き始めたこともあり、前年とほぼ同水準の生産を確保した。

紙・紙加工品 3月の製紙は、消費増税前の駆け込み需要から、インクジェット紙やノーカーボン紙などの国内向けが増産となり、合計では前年を15%ほど上回る生産となった。

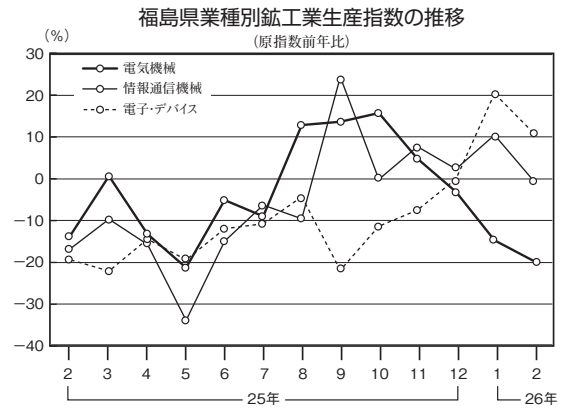
窯業・土石 3月の生コンクリート出荷量は、全体で158,895m³（前年同月比+3.1%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。地区別にみると、県中（同△26.1%）と白河（同△25.8%）が前年を下回ったものの、残り4地区が前年を上回ったため、合計でも前年を上回った。

清酒 3月の清酒移出数量は、1,425kl（前年同月比+21.8%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が558kl（同+14.7%）、一般酒（特定名称酒以外の酒）が867kl（同+26.8%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を上回った。

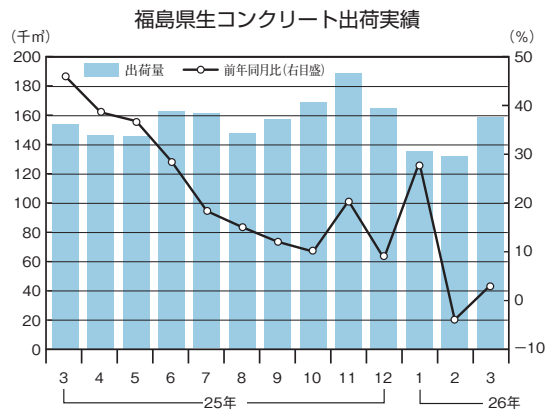
化合繊維物 3月の化合繊維物は、出荷先の在庫調整による影響もあり、出荷数量が前年比で30%程度減少したことから、売上高は前年を10%以上下回った。

ニット 3月のニットは、春夏物商品と秋冬物サンプルの生産が本格化しているなか、既取引先からの受注量が減少したことから、前年を50%ほど下回る生産となった。

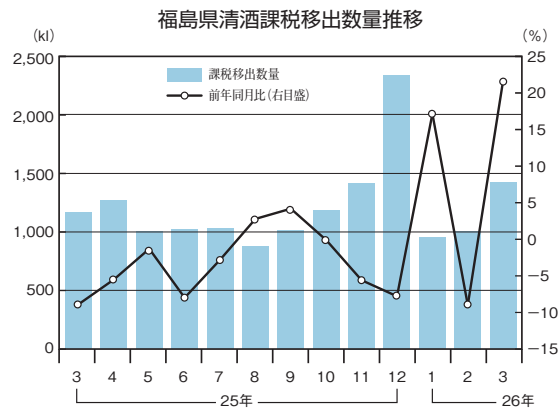
大口電力 3月の大口電力販売量は、487百万kw/h（前年同月比+6.9%）と6ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で106百万kw/h（前年同月比+19.7%）、「電気機械」で75百万kw/h（同+0.1%）、「輸送用機械」で58百万kw/h（同+7.1%）、「化学」で46百万kw/h（同+0.2%）、「一般機械」で26百万kw/h（同+5.6%）、「紙・パルプ」で17百万kw/h（同△1.1%）となっている。



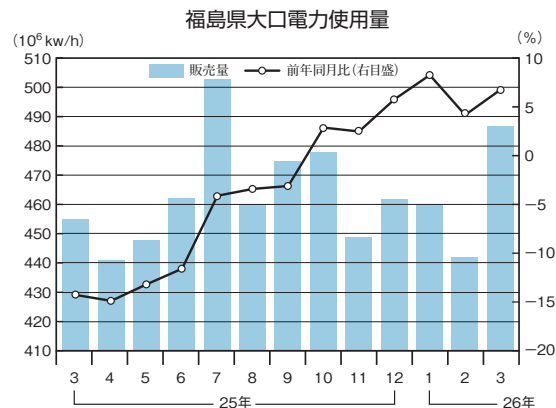
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)